

タイトル： 科学技術部の「“十四五”国家ハイテク産業開発区計画」の発行に関する通知

索引番号： 306-36-2022-117

発行機関： 科学技術部

作成日： 2022年09月21日

公布日： 2022年11月09日

発文字番号： 国科発区〔2022〕264号

有効性： 有効

## 科学技術部の「“十四五”国家ハイテク産業開発区計画」の発行に関する通知

国科発区〔2022〕264号

各省、自治区、直轄市、及び計画単列市科学技術庁（委員会、局）、新疆生産建設兵団科学技術局、各国家ハイテク産業開発区管理委員会：

『中華人民共和国国民経済・社会発展第14次5か年計画及び2035年までの長期目標綱要』と『国家ハイテク産業開発区の高品質な発展の促進に関する国務院の若干の意見』を綿密に実行し、ハイテク区の高品質な発展を推進するために、科学技術部は「“十四五”国家ハイテク産業開発区計画」を作成した。ここに、発行するので、実情を踏まえて入念に履行、対応に当たること。

科学技術部

2022年9月21日

（この文書は積極的に開示するものである）

### 「十四五（第14次5か年計画）」国家ハイテク産業開発区計画

習近平総書記の国家ハイテク産業開発区（以下、「国家ハイテク区」という）の発展に関する重要な指示精神を徹底し、「十四五（第14次5か年計画）」国家ハイテク区の発展理念と重点任務をさらに明確化するために、『中華人民共和国国民経済・社会発展第14次5か年計画及び2035年までの長期目標綱要』や『国家ハイテク産業開発区の高品質な発展の促進に関する国務院の若干の意見』などの文書に基づいて、本計画を策定した。

#### 一、情勢上の必要性

（一）発展の基礎。

国家ハイテク区は30年以上の発展を経て、中国の特色あるハイテク産業化の道を歩み出し、質の高い発展を牽引する重要な力となった。2020年末時点で、国家ハイテク区の総数は東部70カ所、中部44カ所、西部39カ所、東北部16カ所の計169カ所に達し、国家自主革新モデル区（以下、「国家自創区」という）が21カ所建設され、イノベーション主導型発展戦略を実施する重要なキャリアとなった。「第13次5カ年計画」期間中、国家ハイテク区は体制・メカニズムの革新、発展方式の転換、産業構造の最適化、国際競争力の強化などの面で著しい成果を上げ、質の高い発展を推進するために重要なモデルの牽引とハブアンドスポークの作用を發揮した。

国民経済の発展を支える牽引作用がさらに浮き彫りになった。2020年、国家ハイテク区のGDPは13.6兆元に達し、これは全国の13.3%を占め、営業収入、工業総生産額、純利益はそれぞれ42.8兆元、25.6兆元、3.0兆元に達し、2015年比で68.7%、37.8%、89.1%増加し、強力なリスク管理能力と逆成長の勢いを示した。ICチップの研究開発、スマート製造、伝染の制御、疾病の治療、ワクチンと薬物の研究開発、企業活動の操業再開などの面で重要な役割を果たす新技術、新製品、新モデルがいくつか誕生した。

改革模索試験地の役割を効果的に發揮する。「放管服（行政簡素化と権限委譲、監督管理能力の強化と権限委譲の両立、行政サービスの最適化）」改革と行政の簡素化及び地方行政部門等への権限委譲を持続的に推進し、中関村などの国家自創区政策の先行試行と体制・メカニズム改革をさらに深化させ、外国籍人材の導入、エンジェル投資税制、保税監督管理、権限委譲、法定機構、組織構造、人事報酬制度などの面で、複製・普及可能な改革試行の成果をいくつか形成した。

科学技術革新の発信機能は持続的に強化されている。ハイエンドの革新資源と人材が絶えず集まり、量子情報、生物医学などの分野で多大な成果を収めた。2020年、企業の研究開発費支出は全国の49.5%を占め、企業の研究開発への投資強度は全国平均の2.8倍であり、PCT国際特許出願量は全国の49.4%を占め、従業員1万人あたりの研究開発者のフルタイム当量(FTE)は全国の12.5倍であった。

全チェーンインキュベーションシステムはより健全化された。「メーカーズスペース（衆創空間）—インキュベーター—加速器」インキュベーションチェーンが形成され、革新的な企業が持続的に出現している。2020年、インキュベーションキャリアの数、新規登録企業、ガゼル企業数はそれぞれ2015年の2.2倍、3.4倍、1.6倍である。科学技術型中小企業、ハイテク企業、科創板上場企業はそれぞれ全国の35.9%、36.2%、67.4%を占めている。

革新型産業クラスターの競争力は著しく向上している。世界的な産業クラスターをいくつか育成、発展させ、中関村の新世代情報技術、武漢東湖光電子、上海張江集積回路などの産業規模はそれぞれ全国の17%、50%、35%を占めている。生物医学、知的生産、新材料、新エネルギーなどの特色ある産業の集積効果が日増しに顕著になり、5G、人工知能などのデジタル経済が盛んに発展している。

ハブアンドスポークの集積能力は絶えず強化されている。京津冀（北京・天津・河北省）協同発展、長江経済ベルトの発展、グレーターベイエリア（粵港澳大湾区）の建設、長江デルタの一

体化発展などの国家区域の重大戦略を積極的に貢献・支援し、地域の協調発展を力強く牽引する。グローバルイノベーションネットワークに積極的に融合し、「一帯一路」科学技術イノベーション行動計画を実施し、2020年の貨物とサービス貿易の合計輸出総額は全国の22.6%を占め、海外に研究開発機構を2000カ所以上設立した。

## (二) チャンスと挑戦。

「第14次五カ年計画」期間中、百年の変局が発展を加速させ、国際環境がより複雑で厳しく不確かなものになり、我が国は新しい発展段階に入り、新しい発展理念を貫徹し、新しい発展の枠組みを構築し、質の高い発展を推進しなければならず、国家ハイテク区の発展は新しい情勢、新しい使命、新しい要求に直面している。

新たな科学技術革命と産業変革は飛躍的に進歩し、世界の競争構造は再構築を加速させ、国家ハイテク区の先発優位の構築加速に新たな要求を提起した。世界の科学技術革新は空前の活躍期に入り、科学技術革新のパラダイムは大きな変革を起こし、デジタル化、インテリジェント化、グリーン化は重要なトレンドとなり、アプリケーション指向、シーン駆動は科学的発見と技術革新の新しいモデルとなった。世界科学技術園区の発展は産業のハイエンド化、革新生態化、機能融合化、ガバナンスの専門化などの新しい特徴を呈している。新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、世界の科学技術革新の枠組みが広く見直され、最先端技術、ハイエンド人材、標準規則、市場空間が競争の焦点となっている。国家ハイテク区は躍進発展のチャンスを把握し、積極的に課題に立ち向かい、オリジナル革新を強化し、重要なコア技術の進展を加速し、全面的に「高」かつ「新」発展の新たな優位性を形成し、高レベル科学技術の自立自強を支える第一陣とならなければならない。

質の高い発展は深く推進され、新しい発展の枠組みは加速度的に構築されており、国家ハイテク区が全方位的なリード作用を発揮するために新しい方向を明確に指し示した。我が国はすでに質の高い発展段階に向きを変え、国内の大循環を主体とし、国内と国際の双循環が相互に促進する新発展構造の構築がより急務となっており、カーボンピークアウト、カーボンニュートラルの目標実現、共同富裕化の推進などの任務は一層困難である。国家ハイテク区は、質の高い発展の中核的キャリアと新しい発展構造の重要な支点として、国家戦略の需要にさらに焦点を当て、革新という第一動力を強化し、経済、科学技術、社会、エコ文明の全体的な発展を推進し、発展の質と効率を全面的に高め、率先してグリーン低炭素の転換を導き、革新成果がより多くの人々に恩恵を与えなければならない。

国家区域の重大戦略の実施を加速させ、区域協調発展戦略を着実に推進し、国家ハイテク区のハブアンドスポーク作用の発揮に対して新たな要求を提出した。京津冀協同発展、長江経済ベルト発展、グレーターベイエリア建設、長江デルタ一体化発展、黄河流域生態保護と質の高い発展などの国家区域の重大戦略の実施、及び西部大開発、東北振興、中部台頭などの区域協調発展戦略の実施は、科学技術革新の全面的な支持と牽引を切実に必要としている。国家ハイテク区は発展配置をさらに最適化し、革新エンジンの機能を強化し、模範、牽引、ハブアンドスポーク作用を十分に発揮し、地域革新成長拠点を建設し、発展の不均衡・不完全問題の解決に重要な力を捧

げ、地域革新レベルの全面的な向上を牽引しなければならない。

全体的に見ると、国家ハイテク区は「第 13 次 5 年計画」期間に顕著な業績を収めたが、新情勢の新たな要求に比べて、依然として以下の問題が存在している。第一に、自主革新能力のさらなる向上が急務であり、ハイエンド革新資源の集積が不足し、リード性のあるオリジナル成果の突破が十分ではなく、ハイレベル科学技術の自立自強を支える役割が未だ十分に発揮されていない。第二に、主導産業の核心競争力を強化する必要がある、産業の優位性と特色が際立っておらず、産業チェーンとサプライチェーンの安全サポートはまだ十分ではない。第三に、発展の質が不均衡で、東中西部の園区の発展格差が比較的に大きく、国家区域の重大戦略と区域の協調的な発展戦略を支えるための能力を強化する必要がある。第四に、国際化レベルを高める必要がある、国際統合の環境改善が急務であり、開放的な協力の範囲は十分ではない。第五に、制度環境と革新創業生態の最適化が必要であり、自己の発展条件とステップに合致する体制・メカニズムの追及が不十分で、専門化サービス能力が高くない場合、新産業、新業態、新場面の発展に適した制度改革を早急に強化する必要がある。

「第 14 次 5 年計画」期間中、国家ハイテク区はイノベーション主導型発展戦略を深く実施し、ハイレベル科学技術による自立自強で質の高い発展をリードする重要な段階に突入し、積極的に変化に対処して変化を追及し、発展の大勢を把握し、国家の需要をしっかりと押さえ、使命責任を強化し、戦略的地位を高め、園区のブランドを磨き上げ、発展の質を全面的に向上させ、模範的なリード作用をよりよく発揮しなければならない。

## 二、全体的な要求

### (一) 指導思想。

新時代の中国の特色ある社会主義に関する習近平思想を指針として、中国共産党第 19 回全国代表大会と第 19 回全体会議の精神を全面的に貫徹し、新たな発展段階に立ち、新発展理念を完全・正確で、全面的に貫徹し、新しい発展構造の構築を加速させ、引き続き「ハイテク発展、産業化の実現」の方向に従い、「4 つの方向」に焦点を当て、「高」と「新」の 2 つの文章をしっかりと実施し、イノベーション主導発展戦略と国家の重大地域戦略を統一的に計画、実行し、科学技術革新と体制・メカニズム革新の両輪駆動を堅持し、高品質な発展の促進をテーマとし、革新機能を強化し、高レベルの科学技術の自立自強を主軸として支え、国際競争力のある企業と産業の育成を重点とし、良好な革新創業生態を構築することを足がかりとし、イノベーション主導型発展モデル区と高品質発展先行区を総合的に建設し、イノベーション型国家の建設に新たな、そしてより大きな貢献をする。

### (二) 発展の原則。

革新が導く。世界科学技術の最先端と国家発展の需要を把握し、ハイエンドの革新資源を集め、基礎研究と応用基礎研究を強化し、独創的で、リード的な科学技術の難関攻略を強化し、重要なコア技術を進展させ、高精鋭企業を育成し、未来の科学技術と産業を拡大し、より多くの先発優位の体制を構築する。

改革駆動。市場化、法治化、差別化を堅持し、先行試行と「放管服（行政簡素化と権限委譲、監督管理能力の強化と権限委譲の両立、行政サービスの最適化）」改革を強化し、革新主体を強化

し、競争メカニズムを整備し、管理方式を革新し、専門サービス能力を高め、新産業、新業態の発展に適応する制度を模索し、革新創業生態とビジネス環境を最適化し、各種主体の活力を引き出す。

オープンコラボレーション。園区の東西協力と南北交流を深め、開放協力レベルを高め、国内と国際の双循環相互促進・共進を支える。産学研用（企業・大学・研究機関・実用化部門）の連携、大中小企業の資金の流通と発展を推進し、科学技術、産業、金融の好循環を促進し、産業チェーンと革新チェーン、産業革新と都市発展の融合を深化させる。

グリーンインテリジェント。グリーン技術、グリーン産業、グリーンシーン、グリーン制度などの供給を強化し、資源エネルギーの循環集約利用を推進する。園区のインテリジェント化転換におけるデジタル技術の普及・応用を強化する。グリーン化とインテリジェント化の融合発展を深化させ、グリーン発展レベルと効率を高め、カーボンピークアウト、カーボンニュートラルの実現を強力に支持する。

特色ある発展。地域資源の賦存量と発展レベルに応じて、適切な産業発展方向を選択し、バリューチェーンのミドルエンドとハイエンドにさらに焦点を当て、自身の優位性と特色を持つ質の高い発展モデルを追及する。分類指導を深化させ、分類評価メカニズムを確立・整備する。

### （三）発展配置。

「ポテンシャルを高くし、ストックを強化し、大きく増加させる」という発展の導きに従って、国際科学技術産業の競争情勢、産業チェーンとサプライチェーンのセキュリティを高める緊急の需要に基づき、国家の重大地域戦略と地方資源の賦存量などの要素に立ち、国家ハイテク区、自創区の発展配置をさらに最適化し、モデル、牽引、ハブアンドスポーク作用を強化し、地域の協調的かつ持続可能な発展を推進する。条件に合致し、優位性と特色のある省級ハイテク区に対して「昇格による建設促進」の歩みを加速させ、東部地区の配置を改善させ、中部、西部、東北及び特殊タイプ地区における配置を強化する。「有進有出（進あり出あり）」の動的管理メカニズムを実行し、優勝劣敗の仕組みを強化する。「第14次5カ年計画」の末までに、国家ハイテク区の数は約220カ所に達し、東部のほとんどの地級市と中西部の重要な地級市の基本的カバーを実現する。国家自創区の数を適度に増やし、条件のある地方が国家ハイテク区の資源を統合して国家自創区を作ること奨励し、より高いレベルでイノベーション指導発展の新しい経路を模索する。

### （四）発展目標。

2025年までに、国家ハイテク区、自創区の配置はさらに最適化され、自主革新能力は著しく向上し、体制・メカニズムは持続的に最適化され、革新起業環境は明確に改善され、ハイテク産業システムの基礎が形成され、ハイテク成果の産出、転化と産業化メカニズムはさらに完備され、産業と地域の発展を支える重要なコア技術を攻略し、独創性と先進性を兼ね備えたハイレベルな基準を開発し、自主的で制御可能な国際的にリードする製品を形成し、国際競争力を有する革新型企業と産業クラスターが出現し、産業チェーンとサプライチェーンの安全保障作用が明確に強化され、グリーン低炭素とインテリジェント化のモデルチェンジの効果が顕著で、中関村の世界をリードする科学技術園区の建設は重要な進展を遂げ、いくつかの世界的影響力のあるハイテク園区といくつかの革新型科学技術

園区、革新型特色園区を建設し、国家の重要戦略に対する全方位的な支持と牽引作用はさらに強化される。

率先して科学技術の自立自強を支える革新の高地となる。国家戦略科学技術の力は絶えず集まって成長し、重要なコア技術、最先端技術と破壊的イノベーションは重要な進展を遂げ、世界的影響力を持ついくつかの重大なオリジナル成果が現れ、より多くの戦略分野で先発優位を構築する。

率先してより魅力的な人材の高地となる。重要な分野に多くの戦略的科学技術人材、一流の科学技術リーダー人材と革新チームを集め、青年科学技術人材、企業家チームとハイレベルの起業グループが成長を加速させ、国際競争力のある人材制度体系を形成する。

率先して国際競争力のある産業高地となる。強大な国際競争力を持つ科学技術リーダー企業と世界一流企業が誕生し、ハイテク企業、ガゼル企業、ユニコーン企業、科学技術型中小企業集団が持続的に発展し、科学技術、産業、金融循環がよりスムーズになり、成果の転化効率が著しく向上し、いくつかのワールドクラスの革新型産業クラスターを形成し、未来の産業を育成する。

率先して新しい発展構造に奉仕する開放的な高地となる。東西協力、南北交流などの区域を越えた園区協力は著しい成果を上げ、「一帯一路」科学技術園区の協力は重大な進展を遂げ、世界の革新資源のハブアンドスポークの集積能力は著しく高められ、革新環境の国際化レベルは大幅に上昇し、開放協力レベルは明らかに向上する。

率先して制度と政策革新の改革高地となる。管理体制改革は綿密に推進され、突破性、創始性、リード性の改革は持続的に追及され、複製可能で普及可能な先行試行政策が形成され、専門化、市場化サービス能力は持続的に高められ、新産業、新業態の発展に適応する制度環境は絶えず改善されている。

表1 「第14次5カ年計画」国家ハイテク区に期待される目標

番号	指標	2020年	2025年
1	パーク（園区）GDPが国内全体に占める割合（%）	13.3	15
2	総労働生産性（万人民元/人）	36.6	45
3	単位付加価値あたりの総合エネルギー消費量の削減率（%）*	29	15
4	企業の研究開発費が地域GDPに占める割合（%）	6.8	7.8
5	その年に国内で認可された発明専利の割合（%）	34.2	40
6	従業員1万人当たりの研究開発人員数（人年）	1240	1380
7	その年のハイテク企業数（万社）	10.1	30
8	その年の国内外上場企業数（社数）	1684	2000

9	輸出総額が国内の対外貿易輸出に占める割合 (%)	22.5	30
10	その年の新規登録企業数 (万社)	74.8	150
11	技術契約売上高 (億人民元)	8017.4	25000

注：\*は5年間の累積減少率

### 三、重要タスク

(一) 科学技術革新の策源能力を強化する。

#### 1. 国家戦略的科学技術力の強化。

国家戦略の需要を導きとして、国家科学研究機構、高レベル研究型大学、科学技術リーダー企業などの国家戦略科学技術力の国家ハイテク区への配置を推進する。園区が科学技術革新プラットフォームに対するハードウェアサポートと関連サービスを強化し、科学技術成果の実施メカニズムを完備することを奨励する。国家科学研究機構の資源導入、成果転化と運営評価を強化する。高レベル研究型大学との共同研究開発を深化させ、基礎最先端の探索と重要な技術の進展を強化する。科学技術リーダー企業が先頭に立って分野を越えた、大規模な協力による高強度の革新基地を建設することを支援し、全国重点研究所の再編と国家技術革新センターの配置に積極的に参加し、重点産業と核心分野の技術革新能力を強化する。

#### 2. ハイエンド科学教育資源の集積。

国家ハイテク区の科学教育資源集積区の建設を支援し、高品質な革新スペースを構築する。園区が共同建設、仮想統合などの方式を通じて、国内外の大学、科学研究院などの革新資源を集積することを奨励する。大学、科学研究院が園区に支部を設立することを奨励する。区内の中堅企業が大学、科学研究院と連携して市場化運営の高レベル実験施設、新型研究開発機構を建設することを支持する。区内の大学、科学研究院がオープンラボを設立し、企業向けに科学研究機器設備、検査・測定などの資源を開放して共有することを支援する。園区企業が科学技術資源の密集地区に研究開発機構を建設することを支援する。

#### コラム1 科学教育資源集積区の建設行動

国家ハイテク区の革新レベルを向上させるために、条件が備わった園区が率先して科学教育資源集積区を建設することを推進し、特色ある産業と重点分野の革新能力を強化する。

専門機能区の建設を計画する。合併または新設などの方式を通じて、専門空間を設立し、科学城、科学技術城、科学創城、科学教育城などのキャリアを計画的に配置し、いくつかの革新コミュニティ、科学技術産業コミュニティを建設し、ビジネスと生活の一体化を完成させる。

ハイエンドの科学教育資源を集める。園区所在地での研究開発機構の集積区への優先的な

配置を推進し、国内外の大学、科学研究院、企業研究開発センター、新型研究開発機構などを加入させ、重大な科学技術インフラ、国家技術革新センターなどの重大な革新プラットフォームを配置する。

科学技術サービスネットワークを整備させる。創業インキュベーター、技術移転、科学技術金融、知的財産権、科学技術コンサルティングなどのさまざまな社会科学技術サービス機関を誘致・育成し、専門化サービスレベルを向上させる。

### 3. 基礎研究・応用基礎研究のレベルアップ

国家ハイテク区企業、大学、科学研究院が積極的に国家と地方の基礎研究類プロジェクトを担当することを支援する。園区が区内の革新主体を組織して基礎研究と応用基礎研究の重要問題のリストを提出することを奨励する。地方政府部門が園区と連携して区内主体向けの基礎研究類プロジェクトを設立することを奨励する。区内の大学、科学研究院が基礎学科研究センターを建設し、自主的に基礎研究と応用基礎研究を実施することを支援する。園区内の条件が備わった業界トップ企業が産業発展と生産実践における共通の基礎問題の解決をめぐって、応用基礎研究を強化することを奨励する。園区を導き、企業の基礎研究投資に対する税制優遇政策を実施し、多ルートの基礎研究と応用基礎研究への投資の長期的かつ効果的なメカニズムの構築を模索する。

### 4. 重要なコア技術の研究開発の強化

国家ハイテク区が重点産業分野と戦略的製品の核心部分をめぐって、核となる共通技術、最先端技術、現代工学技術、破壊的技術イノベーションに焦点を当て、優位資源と科学研究の優れた力を結集して技術の難関攻略を推進することを支援する。園区が市場化と政府参加の協同運動による技術難関攻略体制を追及することを奨励し、さまざまな革新主体が「揭榜挂帥（科学技術懸賞制度とも呼ばれ、最良の候補者を選択するための公開競争メカニズム）」、「競馬制」などの方式を通じて国家、省級の重要な科学技術プロジェクトを引き受けたり参加したりすることを支援する。園区を導き、重要なコア技術の研究開発、国家科学技術計画などの重大成果の着地転化を推進し、製品化、産業化の実現を加速する。

(二) 国家戦略人材の力を結集する。

#### 1. マルチレベルの革新的人材の結集。

国家ハイテク区が世界に向けて人材を誘致し、より積極的で、より開放的で、より効果的な人材政策を実施することを支援する。園区が重大な革新プラットフォーム、重大な科学技術プロジェクトに依拠し、科学技術人材と革新チームを育成・誘致することを奨励する。園区が青年科学技術人材向けの特別計画を設けることを奨励し、申請条件に合致する園区がポストドクター科学研究ワークステーションの設立を支援し、国内外の優秀な博士やポストドクターなどの青年科学技術人材を誘致する。園区が科学技術リーダー人材イノベーション主導センターなどを設立することを奨励し、科学技術者が企業に奉仕するための特別行動を実施し、科学技術人材の科学技術成果への転化を推進する。



## 2. ハイレベル人材チームの育成。

国家ハイテク区の各種人材支援育成政策の確立と整備を支援し、精密な人材育成システムを構築する。区内の大学が新興産業の発展ニーズに積極的に適応することを奨励し、業界の特色ある学科の専門建設を強化し、最先端と不足の学科の専攻を増設する。産教の融合を深化させ、園区の学校・企業の共同人材育成プラットフォームの構築を支援し、中堅企業などが大学と共同で現代産業学院を建設し、共同管理するよう指導し、未来の技術学院の建設に深く関与し、国際化人材とハイレベルなエンジニアリング人材などを育成する。園区が学校企業、学院企業の科学研究者の「二重雇用」「回転ドア」メカニズムを模索・整備することを奨励する。市場志向の地域横断的な人材の交流協力メカニズムを確立・整備し、人材の健全で秩序ある流動を促進する。

## 3. 人材発展メカニズムの革新。

国家ハイテク区が市場評価の人材メカニズムを模索することを奨励し、国際通行規則と基準をベンチマークした科学技術革新人材の発展指標を制定し、革新価値、能力、貢献を導きとする人材評価システムを構築する。区内の条件に合致する大学、科学研究院が自主的に人材を誘致し、肩書きを評価することを奨励し、知識、技術などの革新要素の価値を十分に反映する収益分配メカニズムを構築する。地方政府が園区の「高精鋭（ハイレベルで精密で先端的であること）不足」人材に向けて「グリーン通路」を開設することを奨励し、外国のハイエンド人材の中国における就労許可と居留許可プログラムを最適化する。区内の企業に勤務し、永住資格を取得した外国人科学者が科学技術計画プロジェクトを率先して担当し、在中の外国人留学生の校外実習と勤労助学制度の構築を模索する。

## 4. 人材サービス保障の最適化。

国家ハイテク区が人間本位を堅持することを支持し、総合保障と公共サービスを強化し、各種人材の革新起業を激励する。園区がさまざまな市場メカニズムを備えた人材アパートを建設することを奨励し、「賃貸、販売、補助金」の方式を同時に採用し、革新人材の住宅問題の解決に力を入れる。区内の大学、科学研究院などが独自の資源を利用し、人材の安住保障業務をしっかりと行うことを奨励する。園区の市場化人材サービス機構の発展を奨励し、人材に多様化、専門化サービスを提供する。園区が福祉保障、子女教育、医療衛生などのサービスを強化し、国際学校、三級甲等病院（中国における最高等級の病院）などの一流の付帯施設を建設し、調和のとれた住みやすく、美しい人材生活環境をつくることを推進する。

(三) 世界的な産業クラスターを建設する。

### 1. 特色ある主導産業の発展に力を入れる。

国家ハイテク区が資源の賦存量と特色ある優位性に立脚することを奨励し、土地・園区の事情に応じた措置を講じ、特色ある主導産業に焦点を当て、革新的な資源配置を強化し、関連する重要な産業プロジェクトを優先的に配置し、集積効果とブランド優位性の形成を加速させる。園区が主導的な産業戦略の牽引作用を発揮するよう誘導し、大中小企業、研究開発機構、サービス機構などを統合し、関連産業の協同発展を牽引し、それぞれ特色のある産業生態を形成する。園区の企業が新技術、新プロセス、新材料、新設備を幅広く活用するよう導き、インターネット、ビッグデータ、人工知能と実体経済の深い融合を推進し、産業の知能化、ハイエンド化、グリーン化への発展を促進し、バリ

ューチェーンのミドル・ハイエンドへの歩みを加速し、産業チェーンとサプライチェーンの近代化レベルを向上させる。

## 2. 戦略的新興産業の拡大。

国家ハイテク区が戦略フロンティア分野の配置を強化することを奨励し、リード型の重要プロジェクトと新技術応用モデルプロジェクトを実施し、重要なコア技術の革新応用を加速させ、戦略産業の新たなエンジンを育成・発展させる。

園区が産業チェーンのキー製品、革新チェーンのキー技術を中核とし、核心要素の集約を加速し、クロスオーバーの融合革新を深く推進し、新興産業の付帯施設を完備し、グローバル競争力を有する戦略的新興産業クラスターを構築する。園区を導き、戦略的新興産業をめぐって、長所を鍛え、産業チェーンの靱性を高め、強鎖補鎖を推進し、区域を越えた産業チェーンの協力を促進し、低レベルの重複建設を防止する。

## 3. デジタル経済の新たな優位性を形成する。

国家ハイテク区を導き、デジタル技術と製造業、サービス業の深い融合を推進し、新産業、新業態、新モデルを産み出す。園区のデジタルインフラ施設、デジタル技術革新システムの建設を支援し、デジタル化作業場とスマート工場をいくつか育成し、国際水準の工業インターネットプラットフォーム、デジタル変換促進センターをいくつか配置する。園区が人工知能、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、ブロックチェーン、工業インターネットなどの新興デジタル産業を積極的に育成し、優位なデジタル産業クラスターを構築することを奨励する。園区がシーン革新を探索し、シーンの促進メカニズムを改善し、初発のアプリケーションシーンを模索して立ち上げ、デジタル経済の新たな活力を解放することを支援する。

### コラム2 応用シーン構築行動

最先端の科学技術と将来の産業発展、消費の拡大、園区管理などの需要をめぐって、国家ハイテク区の応用シーン構築行動の実施を支援し、新技術新製品の着地応用を促進する。

シーン構築の方向性を明確にする。地域の特色を際立たせ、デジタル技術の革新応用を重点としてシーン構築の行動案を制定する。ブロックチェーン、量子科学技術、生命科学、人工知能などの方向をめぐって、科学技術感、未来感のあるシーンの供給を増大させる。

シーンのチャンスリストを公開する。重大プロジェクトのキャリア、産業デジタル化の転換、都市建設と都市の再開発、都市管理と民生サービスなどをめぐって、定期的にシーン需要リストを募集し、社会に発表し、企業の「掲榜挂帥」の実施を誘致し、園区シーンの革新に参加させる。

シーン促進メカニズムを改善する。専門化、市場化されたシーン機構を導入・育成し、新技術革新シーンをフォローし、常態化されたシーンの発掘、企画、発表、マッチングを推進し、コア競争力と商業価値を持つモデル製品を形成する。

## 4. 未来の産業を見据え配置する。

国家ハイテク区が大学の優位性学科と学科の交差融合の利点を頼りに、類脳知能、量子情報、

遺伝子技術、未来ネットワーク、水素エネルギーと貯蔵エネルギーなどの最先端科学技術と産業変革分野に向けて、未来の産業を展望的に配置することを支援する。園区が国家大学科学技術園と連携して未来産業科学技術園、未来産業技術研究院などを建設することを支援し、未来産業の応用シーンを革新し、未来産業科学技術革新とインキュベーションの高地を創造する。園区が産業の国境を越えた融合を支援するよう指導し、最先端の科学技術、ハード科学技術の創業を実施し、いくつかの未来産業の形成を加速する。

### コラム3 未来産業育成行動

大学、科学研究院、大学科学技術園などの優位性を十分に発揮させ、条件を備えた国家ハイテク区の未来産業育成行動の実施を推進し、基礎研究と最先端科学技術成果の転化を促進する。

未来産業科学技術園を建設する。国家大学科学技術園を拠点に、未来産業科学技術園を建設し、関連インフラ建設と応用シーンの構築を強化し、「学科+産業」の革新モデルと「インキュベート+投資」のサービスシステムを探索し、未来産業のインキュベーションと産業化を促進する。

未来産業技術研究院を建設する。区内の高レベル研究型大学、科学技術リーダー企業を拠点に、共同で未来産業技術研究院を建設し、未来産業の重点方向のハイレベル人材などの各種革新資源の集積を加速し、最先端技術のマルチパス探索、交差融合及び破壊的技術の供給を強化する。

未来の産業育成メカニズムを整備する。市場化方式に基づき、未来の産業発展を促進する機構を引き入れ・育成し、産業選択、企業育成、企業誘致と資金導入、シーン発表、ブランド活動、査定評価などの専門化サービスを展開する。

#### (四) 革新的企業グループの拡大。

##### 1. 科学技術リーダーの育成と・世界一流企業の建設。

国家ハイテク区が産業チェーンの重点部分、重要なコア技術に照準を定め、コア技術能力が優れ、集積革新能力が高い、国家戦略科学技術力を代表する科学技術のリーダーと世界一流企業を誘致・育成することを支援する。区内の企業が大学、科学研究院と業界の上流・下流企業と連携して革新連合体を作り上げることを支援し、重大な基礎研究プラットフォーム、科学技術革新基地、学際的研究センターの建設と国家科学技術計画に参加する。区内企業の革新資源、サプライチェーン資源と市場ルートを開放へと導き、クラウドパッケージの研究開発、内部起業、大中小企業の融通などの方式を通じて、プラットフォーム化の転換を実現する。

##### 2. ハイテク企業のコア競争力を高める。

国家ハイテク区がハイテク企業の数を持続的に拡大し、ハイテク企業の高品質で規範的な発展を推進することを奨励する。園区を導き、政策協調連動メカニズムを確立・整備し、研究開発費

用の加算控除、ハイテク企業の所得税減免などの政策をしっかりと実施する。園区が新製品・新技術の応用・普及に力を入れることを奨励する。区内企業の研究開発への投資をさらに拡大し、高レベルの研究開発機構を建設し、重要なコア技術の難関攻略を実施し、革新能力を高めることを支援する。区内の企業を導き、知的財産権管理システムを確立・整備し、コアとなる独立した知的財産権を最適化し、商標ブランドの構築を強化し、業界の国際的な発言権を強化する。

### 3. 高成長企業の発展をサポートする。

国家ハイテク区がガゼル、ユニコーンなどの高成長企業の育成に力を入れることを支援し、企業の発掘、選別、育成メカニズムを整備し、企業の支援政策を健全化する。園区が高成長企業の傾斜育成システム構築を支援し、より多くの発展潜在力のある企業を育成範囲に組み入れる。園区の市場化、専門化された高成長企業サービス機構の導入を支援し、異なる段階の企業発展ニーズに応じて、ビジネスモデルの最適化、プロジェクトのロードショー、資本のドッキング、シーンの拡張などの精確なサービスを展開する。ベンチャーキャピタル、未公開株式、買収ファンドなどの社会資本がガゼル、ユニコーン企業の発展を支援するよう誘導する。

### 4. 科学技術型中小企業を育成する。

国家ハイテク区が科学技術型中小企業の研究開発を支援する制度を確立することを奨励し、「四科」の特徴が明らかな科学技術型中小企業を精確に育成する。園区の各種革新プラットフォームが、科学技術型中小企業の研究開発活動への支援を強化することを推進し、より多くの資源を科学技術型中小企業に集中するよう誘導する。園区が科学技術型中小企業の技術研究開発、パイロット試験熟成基地、プラットフォーム建設、敷地賃貸などへの支持を強化することを奨励する。園区の科学技術型中小企業の革新製品の政府調達制度の探索を支援し、ハイエンド装備の初台(セット)、新材料の初ロット、ソフトウェアの初版などの革新製品の政府非入札買付に力を入れる。園区が中小企業を「專精特新(専門化・精密化・特徴化・斬新化という4つの優れた特徴)」企業に発展させることを奨励する。

(五) ハイレベルな革新創業の推進。

#### 1. 創業インキュベーションサービスの専門化レベルの向上。

国家ハイテク区内の大学科学技術園の発展のための内在的構成要素の質の向上を奨励し、専門化運営管理レベルを強化する。園区がメーカーズスペース(衆創空間)、インキュベーターなどのキャリアの専門化、市場化、チェーン化の発展を推進することを支援し、リーダー企業、大学を拠点とし、優位性の細分化領域に立脚し、専門化されたメーカーズスペース(衆創空間)を建設する。園区がインキュベーションキャリアに対して分類指導、運行評価と動的管理を実施するよう誘導し、質の高いキャリアのレベルアップを正確に支援する。園区の科学技術サービス業集積区の建設を支援し、研究開発、検査・測定・認証、科学技術コンサルティング、標準サービスなどの専門科学技術サービス機構を誘致・育成し、革新創業生態を最適化する。園区が質の高い革新創業活動を開催することを奨励し、影響力のある革新創業ブランドを創出し、国内外のハイレベル人材を誘致してハードテクノロジー、最先端テクノロジーなどのハイレベル創業を展開する。園区が科学者精神、企業家精神の発揚を支持し、革新を奨励し、失敗に寛容な文化を提唱する。

#### コラム4 ハイレベルな科学技術起業促進行動

革新創業の深い発展を推進し、国家ハイテク区のハイレベル科学技術起業促進行動の実施を推進し、ベンチマーク効果と高い成長潜在力を持つ革新型企業を育成する。

高品質のインキュベーションキャリアを建設する。高レベルの起業に緊急に必要とされる専門的なメーカーズスペース（衆創空間）、ハードテクノロジーインキュベーターの建設を加速し、市場化運営チームを集め、専門化された技術プラットフォームを構築し、製品の研究開発、工業設計、小ロット試作、パイロット試験熟成、検査・測定などの機能を強化する。

ハイレベルな創業人材を集める。世界の科学技術の最先端、未来産業などの方向に焦点を当て、国内外の科学者、企業家、大企業の経営幹部などのハイレベル革新創業人材の集結を加速し、最先端科学技術の起業、ハードテクノロジーの起業、科学者共同起業、連続起業を深く推進する。

専門化された的確なサービスを整備する。国際弁護士、知的財産人材、産業投資家などの高レベルな専門化サービス機構と人材の導入を加速し、科学技術革新バウチャー制度を実施し、「インキュベート+投資」などのサービスを絶えず深化させる。

### 2. 科学技術成果の移転・転化の強化。

地方政府が国家ハイテク区を拠点に、国家科学技術成果移転・転化モデル区を建設することを支援し、職務科学技術成果所有権改革、要素市場化配置改革、科学技術成果評価改革などの面でメカニズムを革新し、先行試行する。園区が専門化技術移転機構、技術成果取引プラットフォーム、科学技術成果パイロット試験事業化サービスプラットフォーム、概念実証センター、品質インフラサービスプラットフォームなどを構築することを支援し、科学技術コンサルタント、技術マネージャーなどの高素質な複合型人材を育成する。園区が科学技術成果の常態化ロードショーメカニズムを構築・整備健全化することを奨励し、中国イノベーションチャレンジ、科学技術成果直通車、破壊的技術イノベーションコンテストなどのブランド活動を着実に行う。

### 3. 科学技術と金融の深い融合の促進。

銀行業金融機関が国家ハイテク区に科学技術支店を設立することを奨励する。各種金融機関が区内で融資連動、知的財産権担保融資、知的財産権保険、グリーン金融、サプライチェーン金融などの多様なサービスを展開し、初の（セット）重大技術装備保険などの関連政策の実行を支援する。区内の科学技術型企業の債券融資拡大を支援する。園区が市場化、法治化の原則に基づき、多元的なリスク分担メカニズムを模索し、科学技術成果の転化貸付リスク補償活動を実施し、科学技術型中小企業の貸付リスク分担システムを健全化することを支援する。園区が企業革新ポイントと企業関連金融政策の支援連動メカニズムを改善するよう指導し、金融機関が企業の研究開発革新を支援することを奨励する。園区の市場化株式投資ファンドの育成・発展を支援し、政府指導ファンドのレバレッジ作用を発揮し、エンジェル投資、創業投資規模を拡大し、初期段階の

科学革新企業への支援を強化する。園区が国有資本の創投管理メカニズムを革新することを支援し、条件に合致する国有創投企業が与投メカニズムを構築することを許可する。園区の科学技術企業が創業板、科創板などの多層資本市場に上場することを支援する。

#### コラム5 科学技術と金融の深い融合行動

金融の科学技術産業に対する支援作用を強化し、国家ハイテク区の科学技術と金融の深い融合行動の実施を推進し、金融、科学技術と産業の好循環を実現する。

科学技術金融革新サービスセンターを建設する。各種金融機関の結集を加速し、科学技術金融情報サービスプラットフォームを構築する。科学技術支店、専門化科学技術特色支店の設立を奨励し、異なる分野、異なる段階、異なる種類の企業の需要をめぐって個性的な金融サービス製品を提供する。

ポイントローンなどの新型科学技術クレジットを発展させる。銀行与信、リスク補償、融資担保、金融債などを一本化し、科学技術与信製品システムと政府系融資担保の連動メカニズムを確立・整備し、企業の革新ポイント制のモデルケースを推進し、企業の革新ポイントローンなどを発展させる。

科学技術企業の上場融資サービスを的確に展開する。各種の機関と連携して「融資マッチング-投資ロードショー-上場トレーニング」の指導システムを構築し、重要な科学技術企業の主板、創業板、科創板などの上場融資を段階的に支援する。

#### 4. 知的財産権の創造運用と保護の強化。

国家ハイテク区が国家レベルの知的財産権強国建設パイロット園区の構築を支援し、専利導航サービス基地、商標ブランド指導所を構築し、国家知的財産権優位・模範企業を育成し、企業が重点産業分野で技術水準が高く、市場発展の見通しがよく、競争力の高い高付加価値特許を形成・転化することを指導し、有名な商標ブランドを創出するよう指導する。園区が知的財産権の評価、取引などのサービス機構の導入と育成を加速し、知的財産権の譲渡、許可などの運営サービスを実施することを奨励する。区内の大学、科学研究院が知的財産権の全過程管理を推進することを支援し、既存特許の価値を掘り起こす。園区が行政保護と司法保護の協同連携を強化するよう指導し、知的財産権法律サービス人材の育成に力を入れ、海外知的財産権早期警戒メカニズムを構築・健全化し、海外知的財産権紛争に対応するための指導及びサービスを強化する。

(六) グリーン化・インテリジェント化の融合発展の促進。

##### 1. グリーン低炭素技術の研究開発・応用の強化。

国家ハイテク区が企業をグリーン技術検証センター、グリーン技術革新センター、グリーン技術工学研究センターなどの革新プラットフォームの構築を指導し、化石エネルギーグリーン知能開発とクリーン低炭素利用、新エネルギー、生態環境保護、クリーン生産、資源総合循環利用などの分野に焦点を当て、グリーン技術の難関攻略と試行運用を実施することを奨励する。区内の企業、大学、科学研究院がグリーン技術基準とサービスシステムの構築を模索することを支援し、

二酸化炭素削減、ゼロ炭素、マイナス炭素技術と装備と普及促進を支援する。

## 2. グリーン低炭素産業の発展促進。

国家ハイテク区が低炭素産業専門園の建設を計画することを奨励し、新エネルギー、新エネルギー自動車、エコ環境保護などのグリーン産業クラスターを育成し、グリーン低炭素技術コンサルティング、炭素資産開発管理、第三者契約型エネルギー管理、環境保護管理などのサービス業態を発展させ、グリーン製品、グリーン装備、グリーン低炭素ソリューションの供給を強化する。園区の産業グリーン低炭素転換の推進を支援し、ビッグデータ、人工知能などの新興技術とグリーン低炭素産業の深い融合を促進し、グリーン工場、グリーンサプライチェーン、スマート工場などを建設する。

## 3. グリーン生態環境の最適化。

国家ハイテク区のグリーン低炭素循環化の発展を支援し、高エネルギー消費、高排出、低レベル企業の進出を厳しく制御する。園区が全面的な省エネを提唱し、工業汚染物質排出の全プロセスの予防・抑止・管理を強化し、汚染物質の発生量を低減することを奨励する。園区がクリーンエネルギーの使用を拡大し、エネルギーの段階的利用を推進し、化石エネルギーの消費を低減することを支援する。園区がグリーンインフラ建設を増やし、より多くの生態グリーン景観を作り、全体の緑化被覆率を高めるよう指導する。園区が企業にグリーン認証と標識システムを改善し、グリーン製品の信用メカニズムを構築するよう指導することを奨励する。

### コラム6 園区のグリーン発展行動

国家ハイテク区のグリーン発展行動の実施を加速し、科学技術革新がグリーン高品質発展をリードする道を模索・形成する。

グリーン技術カタログを作成する。重点分野に焦点を当て、公募、専門家による審査を通じて、より多くの条件に合った先進技術をグリーン技術普及カタログへ組み入れ普及させ、企業のグリーン技術プロジェクトの申告、実施を誘導し、カーボンピークアウト、カーボンニュートラルへの歩みを加速するために技術支援を提供する。

グリーンリーダー企業を育成する。企業のグリーン投資、グリーン建設、グリーン運営、グリーン革新などへの支援を強化し、リード性と模範性を併せ持つグリーンリーダー企業を育成する。

低炭素産業専門園を建設する。低炭素産業クラスターの発展、エネルギー転換などの指向をめぐって、リーダー企業と連携して、新設、合併、改修などの方式を通じて専門区域をまとめて計画し低炭素産業専門園を建設し、1 か所から全地区に広めるように垂範して園区のグリーン発展を牽引する。

## 4. デジタル園区の建設。

国家ハイテク区のグリーン・低炭素のデジタル・インテリジェント施設とプラットフォームの

配置と建設を奨励する。条件に合致する各種社会主体が園区に高速情報通信ネットワーク、インダストリアルインターネット、計算力センター、データセンターなどの新型情報インフラの建設に投資することを支援する。園区が管理とサービスのデジタル化と知能化を推進することを支援し、産業と革新創業ビッグデータプラットフォームを構築し、園区の管理運営サービス効率を高める。園区のスマートコミュニティの構築を支援し、教育、医療、介護などのデジタル化サービスの普遍的な応用を推進し、消費、生活、レジャー、交通移動などの各種シーンのデジタル化を促進する。

#### コラム7 デジタル園区建設行動

国家ハイテク区のデジタル化転換を全面的に深化させ、デジタル経済の優位性が際立った園区を推進しデジタル園区建設行動を実施し、発展の質とサービス能力を高める。

園区のインフラのデジタル化を推進する。5G、モノのインターネット（IoT）などの通信ネットワークインフラを構築・整備し、人工知能、ブロックチェーンなどの新技術インフラを配置し、知能計算センターなどの算法インフラ機能を向上させ、交通、物流、市政などのインフラのデジタル化グレードアップを推進する。

デジタル産業の育成を加速する。政策の統合と要素の保障を強化し、デジタル革新資源を集め、デジタル科学技術成果のインキュベート・転化を推進し、デジタル応用シーンを構築し、デジタル経済革新型企業を育成し、重点プロジェクトを誘致し、デジタル産業クラスターを構築する。

産業のデジタル化の転換を推進する。研究開発設計、生産製造、経営管理、市場サービスなどの産業チェーンの核心部分におけるデジタル技術の応用を深化させ、デジタルサービス資源のマッチング、カスタマイズ化システムソリューションの開発、テスト試験などのサービスを強化し、デジタル化転化の普及モデルとベンチマーク企業を形成する。

園区のビッグデータプラットフォームを構築する。産業の特色と運営ニーズを結合し、産業、革新創業、政務サービスなどのビッグデータプラットフォームを構築し、各部門のデータを統合し、企業の発展、産業誘致、社会民生、応急管理などの正確なデータモニタリング、管理とサービスを最適化し、向上させる。

（七）地域連携とハブアンドスポーク効果の強化。

##### 1. 地域革新的成長拠点の構築。

国際科学技術革新センター、地域科学技術革新センターなどに対する国家ハイテク区のサービスサポートの役割を強化する。園区が、隣接する地域、産業相互補完の省レベルハイテク区または各種工業園区を統合したり委託管理したりすることを支援し、集中し連続した、協同相互補完、共同発展の革新共同体を構築する。国家ハイテク区の「一区多園」の実現を支援し、コア園と分園の統一計画、統一建設、統一企業誘致、統一管理を実現する。園区が資源共有と利益バランスのメカニズムを追及することを奨励し、地元と周辺地域の発展の手本を示して牽引する。各地が



国家の自創区を拠点に、省内の発展基礎の優良な園区と革新能力の強いリーダー企業、科学研究院を選抜してハブアンドスポーク効果の範囲に組み入れ、「核心区-放射区-放射点」の発展構造の構築を迫る。自創区のコア区、放射区、放射点の管理とサービスを強化し、核心区が率先して形成した先行試行政策、特定資金を放射区、放射点に普及・共有し、連動発展のレベルを高める。

## 2. 国家区域の重大戦略のサポート。

都市群と地域一体化発展における国家ハイテク区の動力エンジンの役割を強化し、京津冀協同発展、長江経済ベルト発展、グレーターベイエリア建設、長江デルタ一体化発展、黄河流域生態保護と高品質発展などの国家地域の重大戦略の実施により良く貢献する。園区が革新資源開放の迫り、重要技術の共同難関攻略、革新プラットフォームの共同構築などの方式を通じて、周辺地域の革新要素とプラットフォームの相互接続、産業発展の連鎖群、科学技術革新の協同協力、公共サービスの共同構築共有、政策の相互融和・相互承認を実現し、地域全体の革新レベルを向上させることを支援する。

## 3. 地域協調発展戦略の実施。

国家ハイテク区が東西協力と南北交流を実施することを奨励し、異郷インキュベーター、パートナーパークなどの多様な協力メカニズムを最適化し、地域発展の不均衡・不完全な問題を解決する有効な道を模索する。園区が飛地経済モデルを着実に実行することを支援し、「インキュベーター+加速」、「科学技術革新+シーン応用」、「産業チェーン・サプライチェーン協同」などの連携を深く展開し、商業登録のための「異地遷移通弁（どこでも手続き可能）」などの相互認証メカニズムを革新し、中西部地区と未開発地区の革新能力の向上と産業モデルチェンジのグレードアップを牽引する。

### コラム8 地域を越えた園区協力行動

国家の重大区域戦略を深く実施し、国家ハイテク区の区域を越えた園区協力行動の実施を推進し、東西協力、南北交流、特に先進地区と特殊タイプ地区の区域を越えた協力を力強く支援する。

さまざまな形のペアリング協力を行う。人材の相互派遣、産業の相互促進、ファンドの共同設立、革新資源の共有、産学官の連携などのさまざまな協力方式を展開し、定期的にテーマのマッチング活動を実施し、経験交流と共有を強化する。分園、飛び地経済などの方式を積極的に迫り、協力キャリアを建設する。

利益共有メカニズムを確立・整備する。地域を越えた資源最適化組合制度を刷新し、生産額の分計、地域を越えた企業の税収分別の配置を積極的に迫り、園区の開発建設収益の分別などの市場志向の利益共有メカニズムを共同構築する。

地域間協力政策の革新を模索する。科学技術革新バウチャーの通用・通兌（どこでも交換可能）、科学技術革新プラットフォームと科学技術専門家バンクの共有共用、人材評価基準

の相互承認、科学技術成果の地域間転化などを追及する。

(八) 園区開放協力の深化。

1. 国際ハイエンド革新資源を集積する。

国家ハイテク区が国際的に有名な大学、ハイレベルな研究開発機構、有名なベンチャーキャピタル、ハイレベルな人材などのハイエンド革新資源を持続的に誘致することを支援する。園区内の企業が国際科学技術交流・協力を展開することを奨励し、園区の国際協力園、国際技術移転センターなどの国際科学技術協力プラットフォームの構築を支援する。外資企業が園区に研究開発センターを設立し、科学技術計画プロジェクトに参加することを支援する。園区がグローバルイノベーション資源を統合し、海外研究開発センター、オフショアイノベーションセンターなどを建設することを奨励し、「海外研究開発—国内転化、海外インキュベーター—国内加速」などの方式を通じて、国際イノベーション産業高地との連携発展を強化し、海外経済貿易協力区との協同発展を推進する。

2. ハイレベルな「走出去」を推進する。

国家ハイテク区の各種主体が「走出去（中国企業による海外投資戦略）」し、国際大科学計画と大科学プロジェクト、国際科学技術協力プロジェクトなどに積極的に参加することを奨励する。企業が知的財産権のグローバルレイアウトを展開し、国際標準化活動に参加することを支援する。区内企業が積極的に新興市場を開拓し、海外研究開発機構を設立し、産業チェーン協力、国際 M & A、デジタル貿易を展開し、ハイテク製品とサービスの輸出を拡大することを奨励する。

3. 深く融合し、「一带一路」を共同建設する。

国家ハイテク区が「一带一路」構想に積極的に賛同するよう導き、「一带一路」を国と共同で建設し、さまざまな形の国際園区協力を模索・展開し、中国ハイテク区建設の成功経験を共有する。「一带一路」共同建設の科学技術人文交流、技術交流、科学技術園区協力などの任務の協調連動を積極的に推進し、「一带一路」開放協力の新たな高地を築き、共同発展を促進する。

コラム9 「一带一路」園区の国際協力行動

「一带一路」共同建設の大枠組みに深く融合し、国家ハイテク区の「一带一路」園区の国際協力行動の実施を推進し、相互利益・Win - Win の関係を実現する。

国際科学技術協力園区を共同で建設する。さまざまな科学技術協力プラットフォームの構築を統一的に推進し、「一带一路」を国と共同で国境を越えた経済協力パーク、海外科学技術パークなどのキャリアを建設し、共同研究開発、製造統合、技術マッチングなどの協力プラットフォームを積極的に配置し、革新要素の流動開放を促進する。

企業のハイレベルな「走出去」を支援する。区内企業による「一带一路」インフラ建設プロジェクト、国際生産能力協力プロジェクトなどへの投資・経営を支援する。国境を越えた投融资システムを整備し、国際決済、貿易融資、国境を越えた資金管理などのサービスをさ

らに最適化し、企業の経済貿易協力を深める。

国際開放政策を模索する。『地域的な包括的経済連携協定』、『環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定』などの国際的に公認された高基準の経済貿易規則をベンチマークし、対外開放の圧力テストを強化し、国際と連動したいくつかの制度革新のモデルケースを追及する。

(九) イノベーションガバナンスのレベルアップ。

### 1. 市場化、法治化、国際化ビジネス環境の最適化。

国家ハイテク区の「放管服（行政簡素化と権限委譲、監督管理能力の強化と権限委譲の両立、行政サービスの最適化）」改革のさらなる深化を支援し、投資プロジェクトの審査・認可改革を推進し、企業投資プロジェクトの承諾制、不足許容受理制を実施し、不必要な行政介入と審査・認可登録事項を減少させる。園区が商事制度改革をさらに深化させることを奨励し、「証照分離（営業許可証発行と行政部門による営業許可承認手続きを分離し、不要な手続きや審査を削減すること）」、「照後減証（営業許可証の取得後は許認可が簡略化され審査不要などとなること）」改革を全面的に推進し、市場参入を緩和し、企業の簡易抹消登録改革を推進し、事前事中事後信用監督管理を革新する。園区の法治システムの確立と健全化を指導し、法に基づく経済活動の多層的・多分野管理を積極的に推進し、安全生産責任を強化し、良好な安全環境を構築する。国際投資と貿易通行規則とが結びついた政務サービス、知的財産権保護システムの構築を模索し、より国際競争力のあるビジネス環境を形成する。

### 2. 政策革新と先行試行の強化。

中関村が新たな先行試行改革措置を実行することを支援する。国家ハイテク区が新興産業の監督管理、成果転化と株式インセンティブ、人材導入流動、新型融資モデル、知的財産権評価と取引、新型産業用地、地域間相互承認などの重点方向をめぐって、政策革新と先行試行を強化し、重点分野におけるプロジェクト、拠点、人材、資金の一体化配置の推進を支援する。園区の複製と国家自創区などの関連した改革モデルケース政策の普及促進を支援する。園区が監督管理コンプライアンスとリスクコントロールの原則に基づき、「サンドボックス監督管理」メカニズムを模索し、フォールトトレランス免責事前登録制度を確立と整備を支援する。各種主体が園区の産業発展、革新創業、社会管理などに参与することを奨励し、多元的な共治モデルを構築する。地方政府が権限の範囲内で大胆に革新することを奨励し、「3つの区分け」の要求を実行し、試行錯誤のメカニズムを改善し、ミス容認・ミス指摘をしっかりと行う。

### 3. 管理体制・メカニズム改革の持続的深化。

国家ハイテク区が省級、市級の经济管理権限の委譲を積極的に受け入れ、省級関係部門とのリスティング広告プログラムを確立することを支援する。地方がハイテク区条例を公布することを支援し、園区の持続的な発展をよりよく保障・促進する。園区がその土地の状況や時々的情勢に応じて、自己の発展条件とレベルに適した管理体制を模索し、内部管理構造を最適化するように

支援する。条件のある園区がポスト管理制度を模索し、雇用制と業績給制度を実施し、実情に合ったインセンティブの割り当てと評価メカニズムを確立・整備することを奨励する。園区開発建設主体が市場化経営メカニズムを改善し、混合所有制改革と上場融資を推進することを支援する。

#### 4. 付帯サービス機能の最適化。

国家ハイテク区が都市と産業の融合発展を深く推進し、教育、医療、介護、保育、ビジネス、文化、娯楽、スポーツなどの公共サービス施設を整備することを支援する。園区の公共サービス供給メカニズムの革新を奨励し、主体の多元化、方式の多様化する公共サービス制度体系を確立・健全化する。園区が都市再開発を展開し、革新資源の集積、創業・創新サービスの完備、科学技術人材の密集した産業コミュニティ、革新コミュニティ、国際科創コミュニティなどを建設し、美しい生活の新しい景観を構築するよう指導する。

### 四、保障措施

#### (一) 組織の指導管理を強化する。

中国共産党の指導を堅持し、国家ハイテク区の発展を推進する上で中国共産党の各級組織が指導的役割と戦闘堡壘の役割を十分に発揮する。国家科学技術管理部門のマクロ誘導と省級科学技術管理部門の業務指導の役割を十分に発揮する。各関連省級人民政府は国家ハイテク区をイノベーション主導型発展戦略を実施するための重要なキャリアとし、省内の国家ハイテク区の計画建設、産業発展と革新資源の配置に対する統一的な計画を強化しなければならない。国家ハイテク区所在地の市級人民政府は、国家ハイテク区建設の主体的責任を確実に担い、国家ハイテク区指導チームの配置と幹部陣の陣営作りを強化し、かつ国家ハイテク区に十分な財政、土地などの政策保障を与えなければならない。

#### (二) 園区分類指導を深化させる。

質の高い発展基準を堅持し、異なる地域、異なる段階、異なる資源の賦存量などの状況に応じて、国家ハイテク区に対して分類管理を実行する。先進園区の世界をリードする科学技術園区と世界的な影響力を持つハイテク園区の建設を支援する；革新資源が比較的豊富な園区の革新型科学技術園区の建設を支援する；主導産業と発展モデルが際立った園区の革新型特色園区の建設を支援する。園区がデータ統計、運行モニタリングと業績評価を強化するよう指導し、土地集約利用状況評価を刷新・改善する。動的管理と淘汰メカニズムを確立し、評価結果が良い園区に対して表彰の掲示を行い、評価結果が悪い園区に対しては、面談、通達などの方式で警告し、是正が不十分な園区を廃止し、国家ハイテク区の序列から撤退させる。

#### (三) いくつかの重要な行動を実施する。

イノベーションに牽引された質の高い発展要求をめぐって、国家ハイテク区で科学教育資源集積区の建設、応用シーンの建設、未来産業の育成、ハイレベル科学技術の起業促進、科学技術と金融の深い融合、園区のグリーン発展、デジタル園区の建設、区域を越えた園区の協力、「一帯一路」園区の国際協力などの行動を組織し展開する。科学技術部は先頭に立って誘導の役割を發揮し、中央と地方の協力を推進し、地方の積極性を十分に引き出し、重要な行動の実施を促進する。

各園區は実情と結びつけて、具体的な実行措置を検討し、任務目標を明確にし、秩序ある推進を確保しなければならない。

(四) 計画の実施メカニズムを整備する。

本計画の実施範囲は、国务院と省級人民政府が法に基づいて審査・認可した国家ハイテク区の計画範囲である。計画実施に対する組織、協調と監督を強化し、計画実施監視評価、評価監督メカニズムを確立・健全化し、実情状況に応じて計画と評価目標を合理的に調整または修正しなければならない。計画実施状況の年度モニタリング、中期評価、総括評価を実施し、第三者評価の実施を奨励し、モニタリング評価結果の応用を強化する。

出所：

中華人民共和国科学技術部ウェブサイト 2022 年 11 月 9 日付け発表

[https://www.most.gov.cn/xxgk/xinxifenlei/fdzdgknr/fgzc/gfxwj/gfxwj2022/202211/t20221109\\_183360.html](https://www.most.gov.cn/xxgk/xinxifenlei/fdzdgknr/fgzc/gfxwj/gfxwj2022/202211/t20221109_183360.html)

※本資料はジェトロが作成した仮訳となります。ジェトロでは情報・データ・解釈などをできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、本資料で提供した情報などの正確性についてジェトロが保証するものではないことを予めご了承下さい。